



Freedom 木口木版、コラージュ 380×455mm 2016

Place to come back through sometime ミクストメディア サイズ可変 2015

He goes out 木口木版 151×207mm 2014

文月 ミクストメディア サイズ可変 2015

氏の作品からは、木口木版による美しい版の作品からは優れた技巧が伺えるのと同時に、モチーフに用いられている蝶や植物、版自体が持つ媒体としての性質が巧みに利用され、場面や構成が変わることによって起こる「個」と「集合」の振る舞いの変化に着目させられる。

個へのある種の強制性を持った、現代における記号とシステムから設計された硬い集合に対する、柔らかな集合の象徴を、作品から受け取る事が出来るのではないだろうか。

<アートイマジンギャラリー>

鶴田功生

1987 愛知県生まれ

2015 名古屋造形大学 造形学部 洋画コース 卒業

2016 愛知県立芸術大学 大学院 美術研究科
油画・版画領域 入学

2017 大学院 2 年在学

活動歴

2014 交差する版画 D×PRINTS2014

3 大学版画交流展 / 名古屋造形大学 D ギャラリー

第 39 回全国大学版画展 / 町田市立国際版画美術館

2015 Spinning Perspective 紡ぎだされる視点

/ 小牧市民ギャラリー

第 22 回名古屋造形大学卒展 / 愛知県立美術館ギャラリー

第 6 回山本鼎版画大賞展 / 上田市美術館

第 14 回南島原市セミナリョ現代版画展

/ 南島原ありれコレジヨホール

芸術の存在意義「展」No. 20/ アートイマジンギャラリー

足助ゴエンナーレ 2015/ 寿々家

第 83 回版画展 / 東京都美術館 賞候補

2016 第 41 回全国大学版画展

/ 町田市立国際版画美術館収蔵賞

2017 個展 / 伊勢現代美術館

INDIRECT' 17/ 愛知県立芸術大学サテライトギャラリー

第 11 回大学版画展受賞者展 / 文房堂ギャラリー

個展 / 碧南市藤井達吉現代美術館

第 26 回奨学生美術展 / 佐藤美術館

亀山トリエンナーレ 2017/ 亀山市内

第 85 回版画展 / 東京都美術館

<アーティストステートメント>

私は自然界との距離感や共存を意識し、動植物の子細な表情を深く掘り下げた版画作品の制作を行っている。その表現方法は木口木版技法を中心に制作し、版画表現を平面形式のみに留めず、版の特性である複数性を活かすことで、立体や空間表現などに応用し、新たな版表現の可能性を模索しながら制作している。



TEL 042-595-9612